

令和3年 第3回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和3年3月25日(木)

開会 13時30分

閉会 14時35分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(6名)

教 育 長 野 口 弘

教 育 委 員 田 邊 俊 治

〃 大 島 淳 光

〃 木 村 陽 子

〃 長 澤 裕 子

〃 櫻 吉 啓 介

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 丸 山 章 子

事務局	教育次長(兼)学校教育部長	加 藤 弘 行
	教育総務課長	堀 場 喜一郎
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	松 田 潤一郎
	担当部長(兼)学校職員課長	羽 場 政 彦
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	田 村 創
	担当部長(兼)学校指導課長	寺 井 義 春
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	青 山 雅 幸
	市立工業高校事務局長	新 出 光 昭
	生涯学習部長	中 坂 暢 江
	生涯学習課長	村 田 英 彦
	(兼)長土堀青少年交流センター所長	
	図書館総務課長	池 田 光 穂
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)近世史料館長、城北分館長	
	教育プラザ総括施設長	松 本 季 之
	(兼)地域教育センター所長	
	学校教育センター所長	熊 谷 有 紀 子
	文化財保護課長	納 谷 秀 行

5 案 件

議案第6号 金沢市教育委員会教育長事務委任等に関する規則の一部改正について
(教育総務課)

議案第7号 金沢市教育委員会事務局の組織及び分掌事務規則の一部改正について
(教育総務課)

議案第 8 号	金沢市教育委員会事務決裁規則の一部改正について	(教育総務課)
議案第 9 号	金沢市社会教育委員事務局規則等の一部改正について	(生涯学習課)
議案第 10 号	金沢市教育プラザ条例施行規則の一部改正について	(教育プラザ)
議案第 11 号	教育委員会事務の補助執行に関する規則等を廃止する規則制定について	(教育総務課)
議案第 12 号	金沢市教育委員会規則で定める様式における押印の見直しに伴う関係規則の整理に関する規則制定について	(教育総務課)
議案第 13 号	金沢市立小学校、中学校管理規則及び金沢市立工業高等学校管理規則の一部改正について	(学校職員課)
議案第 14 号	金沢市指定文化財の指定について	(文化財保護課)
報告第 6 号	金沢市学校教育振興基本計画の改定について	(教育総務課)
報告第 7 号	金沢市生涯学習振興基本計画の改定について	(生涯学習課)
報告第 8 号	田上校下新小学校建設事業の概要について	(教育総務課)
報告第 9 号	学校給食費の公会計化について	(教育総務課)
その他		

- (1) 金沢市立工業高等学校の活動状況について (令和 2 年 10 月～令和 3 年 3 月)
- (2) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者 5 名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員に田邊委員を指名した。本日の議題について、全て公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第 6 号、議案第 7 号、議案第 8 号、議案第 9 号、議案第 10 号、議案第 11 号、議案第 12 号、議案第 13 号、議案第 14 号、報告第 6 号、報告第 7 号、報告第 8 号、報告第 9 号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、4 月の定例会議の開催日を次のとおり決定し、閉会した。

* 4 月の定例会議の日程：令和 3 年 4 月 21 日 (水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

- 議案第 6 号 金沢市教育委員会教育長事務委任等に関する規則の一部改正について (教育総務課)
- 議案第 7 号 金沢市教育委員会事務局の組織及び分掌事務規則の一部改正について (教育総務課)
- 議案第 8 号 金沢市教育委員会事務決裁規則の一部改正について (教育総務課)
- 議案第 9 号 金沢市社会教育委員事務局規則等の一部改正について (生涯学習課)
- 議案第 10 号 金沢市教育プラザ条例施行規則の一部改正について (教育プラザ)
- 議案第 11 号 教育委員会事務の補助執行に関する規則等を廃止する規則制定について (教育総務課)

(説明の概要) 先週末に閉会した本市定例会議において、新年度における市役所の行政組織の見直しに係る条例が議決されたことに伴い、教育委員会所管の関係規則を改正、廃止するものである。今回の見直しに係る主な変更点は、一つ目に、次代を担う子供たちのための施策を総合的かつ重点的に推進するため、これまで教育委員会が所管していた教育プラザの地域教育センターおよび長土堀青少年交流センターに属する業務について、市長部局のこども未来局に移管するこ

と。二つ目に、文化財保存活用地域計画の策定を機に、まちづくりの視点を生かした文化財行政を進めるため、これまで教育委員会が所管していた文化財の保護に関する業務について市長部局に移管すること。三つ目に、迅速な意思決定と柔軟な組織体制を構築するため、市役所の組織から部が廃止されることに伴い、教育委員会内の学校教育部と生涯学習部を廃止すること。以上3点を踏まえての改正となる。

別冊資料1ページ。議案第6号では、教育委員会議決で議決を受けるべき事項から、青少年教育に関する内容および文化財の保護に関する内容を削除する。

5ページ。議案第7号では、市役所の組織から部が廃止されることに伴い、規則内の表などから部の記載を削除する。具体的には別冊資料10～19ページの新旧対照表に記載した。

20ページ。議案第8号も同様に、部の廃止に伴い専決区分を見直すとともに、組織見直しに伴う整理をしている。

37ページ。議案第9号では、3つの規則について部の記載を改めるとともに、市長部局へ移管する施設に係る公印の整理を行っている。

46ページ。議案第10号では、金沢市教育プラザ条例施行規則を「金沢市教育委員会における金沢市教育プラザ条例施行規則」と題名を変更し、新年度から市長が所管する事項についての記載を削除している。

52ページ。議案第11号では、下段に記載の6つの規則について、新年度から市長部局の所管事項となることに伴い、一括して教育委員会規則を廃止し、市長部局で同内容の条例施行規則を新たに制定する。

以上6件に係る規則の施行日は令和3年4月1日とする。

（特になし）

○ 議案第12号 金沢市教育委員会規則で定める様式における押印の見直しに伴う関係規則の整理に関する規則制定について（教育総務課）

（説明の概要）別冊資料54ページ。押印の見直しについては、12月に行われた本定例教育委員会議において、市民生活の利便性向上や業務の効率化を一層推進するため、市民から市役所に提出する書類に関する押印の見直しについてお諮りしている。今回はそれに引き続き、54ページに記載の5つの教育委員会規則について、主に市役所から市民に対して発出する使用承諾書、承認書等の様式から押印欄を廃止する。それぞれの規則の内容は55ページに記載のとおりである。施行日は令和3年4月1日とする。

（特になし）

○ 議案第13号 金沢市立小学校、中学校管理規則及び金沢市立工業高等学校管理規則の一部改正について（学校職員課）

（説明の概要）教育委員会事務局における文書管理が適正に行われることを確保するため、金沢市教育委員会事務局文書管理規程の制定等に伴う関係規定を改正するものである。別冊資料67ページの右側が現行の記載、左側が改正案である。第3条第2項にある「金沢市教育委員会事務局における文書取扱規程」を「金沢市教育委員会事務局文書管理規程」とする。この規則改正は令和3年4月1日から施行となる。金沢市立工業高等学校管理規則も同様の改正となる。

（特になし）

○ 議案第14号 金沢市指定文化財の指定について（文化財保護課）

（説明の概要）1月27日に開催された教育委員会議において、有形文化財考古資料「三千寺跡

（三小半ハバ遺跡）出土品」について、市の指定文化財にすべきものかどうか、金沢市文化財保護審議会に諮問していただいたものである。諮問を受けて2月26日開催の文化財保護審議会において、金沢市指定文化財としてふさわしいものとの答申が出されたので、本日の定例教育委員会会議で文化財指定の決定をお諮りするものである。出土品の内容は別添資料のとおりだが、前回の会議でご説明したので、本日は割愛する。本市における奈良・平安時代の貴重な考古資料であり、ぜひお認めいただきたい。

なお、本日の議題にあったとおり、教育委員会で文化財の指定をご審議いただくのは今回が最後となる。長年にわたり幾多の文化財について深いご審議を頂いたことに厚く御礼申し上げる。

（特になし）

○ 報告第6号 金沢市学校教育振興基本計画の改定について（教育総務課）

（説明の概要）議案書13ページ。本計画の改定については、昨年11月の教育委員会会議で計画改定の骨子をご報告した。12月に約1カ月間実施したパブリックコメントで寄せられたSDGsの取り組みの推進や人権教育の推進などの意見も踏まえ、基本計画を改定した。

基本的方向性および取り組むべき施策の考え方について、主な見直し内容を順にご説明する。詳細な内容は別冊資料「金沢市学校教育振興基本計画改訂版」、12～23ページに記載している。

（1）「豊かな人間性を育む教育に取り組みます」では、「部活動の充実に向けた運営体制の整備」として、今後の国の動向も踏まえ、運動部活動地域指導者の派遣や退職教員等を部活動指導者として配置し、学校や地域の実情に応じ、持続可能な運営体制を整えられるよう取り組む。

（2）「確かな学力を育む教育に取り組みます」では、「ICTを活用した教育の推進」として、情報通信技術（ICT）を活用した先進的で新しい授業の試行実施や、GIGAスクール構想によって整備された学習用端末を主体的に活用できるように取り組む。

（3）「健康や体力を育む教育に取り組みます」では、「安全・安心な学校給食の提供」として、「新たな学校給食共同調理場再整備計画」に基づき、共同調理場の新設や施設整備の更新に取り組む。

（4）「ふるさと金沢の個性を生かした教育に取り組みます」では、「SDGsの取組の推進」として、市内の全小・中学校が加盟したユネスコスクールの取り組みを推進し、総合的な学習の時間等における取り組みをSDGsの視点で点検・再評価する。

（5）「特別支援教育の充実に取り組みます」では、全ての児童生徒一人一人の教育的ニーズに配慮しながら自己の可能性を最大限に伸ばせるよう、多様できめ細やかな学校教育の充実に取り組む。

（6）「福祉と連携した教育相談・支援体制の充実に取り組みます」では、保育施設職員や教職員、保護者、必要に応じて医療機関等と連携できる相談体制の充実に努め、問題の早期発見と不応等への未然防止に努める。

（7）「家庭、地域と連携したひとづくりに取り組みます」では、「コミュニティ・スクールの推進」として、住民が主体となって子供を育む地域協働学校活動との連携・協働を推進し、広い視野に立った子育て環境を促進していく。

（8）「教職員の資質向上と教育環境の充実に取り組みます」では、「教職員の本務に専念するための時間の確保」として、教職員の勤務時間に対する意識改革の推進による業務の効率化や、事務負担軽減に向けた人的・物的支援の充実を実施する。

今後、本計画の着実な実現に向けて、学校での実践はもとより家庭や地域等とも連携し、取り組みを進める。改定版の冊子は4月中に委員の皆さまにお届けしたい。

田邊委員

些細なことですが、本編資料の「はじめに」の4段落目の2行目にある「次代を担う人材を育てて行く」の「行く」は、本編の中では全てひらが

なにされていたので、その方がいいと思いました。もう一点、次の段落で基本理念を『心』と『力』というように『』を使って説明していますが、本編の中では「」で書かれていますので、確認をお願いします。

【方向性8】で、8-3に「安全で快適な学習環境の確保」というタイトルがあります。安全なことは大事なことです。快適な学習環境というのは学校としては望ましいものの、表現として「安心な」とか「充実した」の方がいいと思えます。「快適な」と表現していいのかということが気になりました。

全体としては、これからの大きな方向性として、主体的・対話的で深い学びを身につける取り組みに共感します。また、無理のないといえますか、持続可能な形で子供たちと同時に先生方の方向性として推進していただければと思います。

堀場教育総務課長

ご指摘いただいた文言の整理については、今一度確認し対応したいと思います。「安全で快適な学習環境の確保」の「快適な」という表現については、これから進められるICT教育などにおいて、端末等を活用して授業をしていきますので、現状の学校設備で十分なのかというチェックも含めて検討していきたいと思っています。

櫻吉委員

先生方はものすごくたくさん取り組みをしなければならず、負担が大きいのではないかと思います。昨日発表された、現在の中学2年生が高校3年生になったときに受験する大学入学共通テストの問題を見ると、「公共」の科目にフードドライブの問題が出ていました。これは私が前回の会議で初めて聞いたような言葉ですし、SDGsの問題なども出ていて、今までのように知識で対応することとは違ってきているという感想を持ちました。

ですから、中学の段階で既に学科に組み込まれているような教育もかなり取り組んでいかなければなりませんし、高校に入ったときに始めるのではちょっと間に合わないような、体験学習的な要素も問われているので、そういうことも見越して、子供たちに関わっていただきたいと思いました。

寺井学校指導課長

現在、小中学校では総合的な学習の時間において、持続可能な開発のための教育としてSDGsの内容に合致した取り組みを行っています。昨年度からは、これまでやってきた取り組みをSDGsの視点でもう一度点検し、内容の充実を図っていく指導をしています。フードドライブなどについても、それぞれの学校の実情に応じて年間指導計画に組み入れて、体系的な学習をしているところです。来年度もこうした学習を充実させて、小学校、中学校とつないでいきたいと考えています。

新出市工高事務局長

市立工業はものづくりの専門高校として、これまでもSDGsの趣旨を取り入れた教育を実践していますが、来年度はSDGsに関する研修会といったものも実施する予定です。

野口教育長

昨日、金沢大学との連携会議に出席しましたが、SDGsの取り組みを小学校、中学校と、高等学校、大学とが連携して推進し、しっかりと子供たちを育てていかなければならないという話がありました。意識化は進んでいると思いますが、具体的な取り組みを学校現場と共に進めていただければと思います。

田邊委員

関連して、高校で「情報」という新しい教科が導入されます。高校の先生方からは、小学校、中学校でプログラミングをしっかりと取り組まないと、「情報」の教科が円滑に進んでいけないという声も聞きます。そうしたつながりの観点からも、小学校、中学校でプログラミング教育をしっかりと

充実させる必要があると思います。

野口教育長

3月議会でもプログラミング教育についてのご質問がありましたが、寺井課長いかがでしょうか。

寺井学校指導課長

小学校のプログラミング教育については、本市独自で策定したベーシックカリキュラムを、部分的に見直しを図りながら充実させて、来年度実践していきたいと考えています。

委員ご指摘の小学校と中学校の連携についても、ベーシックカリキュラムの中に引き続き反映させてまいります。

○ 報告第7号 金沢市生涯学習振興基本計画の改定について（生涯学習課）

（説明の概要） 議案書16ページ。改定については学校教育振興基本計画と同様、昨年11月に定例教育委員会議にて報告後、12月に約1カ月間のパブリックコメントを実施した。金沢SDGsの学習機会やオンラインと対面の組み合わせによる豊かな学びについてしっかり取り組んでほしいなどのご意見を踏まえ、基本計画を改定した。

基本的方向性と今後取り組むべき主な施策についてご説明する。詳細な内容は別冊資料「金沢市生涯学習振興基本計画改定版」の12～21ページに記載している。

（1）「すべてのライフステージにわたる多様な学習ニーズへの対応に取り組めます」では、地区公民館等における学びの場を活性化することで、持続可能な社会づくりの担い手を育むための学習活動を推進する。そのため、新たに金沢SDGs「5つの方向性」の実現に向けた学習機会の充実や地域人材の育成などに取り組む。また、アクティブシニアの生涯学習活動の支援にも取り組む。

（2）「青少年の育成のために家庭・地域教育力の向上に取り組めます」では、金沢の将来を担う青少年が社会に関心を持ち、主体的に参画できる意識を促していけるよう、発達段階に応じたシチズンシップ教育を推進する。また、地域の住民、組織が連携した見守りを推進するほか、家庭、地域、学校等の各主体における子ども読書活動の促進に取り組む。

（3）「市民参画と協働を推進するために学びの場の創出に取り組めます」では、地域づくり、まちづくりに関する学習機会の提供として、新たに地域活動の担い手育成に取り組むほか、地域の各種団体の連携促進や各団体活動のコーディネート体制の充実に取り組む。

（4）「学習の拠点整備・情報システムの活用など、生涯学習環境の充実に取り組めます」では、新たにオンラインと対面の両方の組み合わせによるより豊かな学びを推進し、ICTを活用した学習環境の整備と学びの成果の発信に努める。また、行政、民間、高等教育機関の連携による学習機会の提供として、産学官がそれぞれの強みを生かして連携しながら宇宙教育の推進に取り組む。

（5）「金沢らしい個性ある学習文化都市づくりに取り組めます」では、身近な伝統文化や年中行事を通じた交流を促進するほか、伝統芸能・文化・工芸の継承発展に向けた学習機会の提供に取り組む。また、日常の暮らしや趣味・嗜好を高めるための市民による芸術活動が盛んに行われている本市において、実演家や鑑賞者など芸術活動の多様な担い手を育成するほか、芸術活動の発信や担い手の交流機会を創出する企画の施策に取り組む。

今後は、市民の皆さま、企業や関係団体等と連携し、多様で豊かな学びやつながりによる新しい時代の生涯学習に向けて、本計画による施策の推進と生涯学習の振興に努める。改定版の冊子は4月中に委員の皆さまにお届けしたい。

田邊委員

生涯にわたって学習の充実を図るという生涯学習にかかわる、とても大事な計画ですので、5年間の新たな取り組みを見据えて、しっかり取り組んでいただければと思います。

一方で、全ての人を対象にする点で、いろいろな意味で困難を抱えてい

る方や学びたくても学べない状況への対応が求められると思います。相談しようにも相談の場が得られなかったり、支援を得たくても支援を得られなかったり、困難を抱えている人に対して機会やアクセスの格差を解消する対応が求められると思うのですが、方向性の中で該当する要素がつかめなかったような気がしました。そのあたりはどのような位置付けなのでしょう。

それから、生涯学習の課題を整理するために金沢市eモニターというものを活用されていたのですが、これはどういったものか教えていただければと思います。

村田生涯学習課長

困難を抱えている方などに対する配慮ですが、直接的に明らかな文言で書いてあるわけではありませんが、市や地区公民館での学びの機会の提供について、どのように皆さまに広報・周知していけばよいか、計画を推進する中で検討していきたいと思っています。

eモニターに関しては、市政のいろいろな課題についてアンケートを取るためのものです。eモニターについては既に対象の方が指定されているので、比較的スムーズにアンケートを取ることができ、回答も早いため採用しました。eモニター以外にもニーズ把握のために効果的な方法があれば検討していきたいと思っています。

長澤委員

別冊資料14ページの「地域社会への参画に向けた活動推進」の中に、「青少年活動（子ども会、青年団など）の活性化に向けた支援」とあります。公民館などの活動については、それぞれの公民館の自治を尊重しながら活動していると理解していますが、一方で活動の活性化に向けた支援について、具体的にどのような支援を予定されているのかお聞きします。

村田生涯学習課長

子ども会の活動については、市から各子ども会に対して補助金の支援をしています。また、学校と地域が連携して、地域学校協働活動をしていただいています。そういったところで今後、子ども会にも関わっていただいて、活動の幅を広げていくことができないか考えています。

長澤委員

具体的な活動に関しては、それぞれの団体の判断を尊重しつつ、大卒のところや予算といった面で支援しているという理解でよろしいでしょうか。

村田生涯学習課長

子ども会の活動については、長土堀青少年交流センターが拠点になっているのですが、そちらで青少年教育関連団体の活動を紹介するようなパネルを置いています。それ以外にも活動を広くPRして、そうした団体の活動の理解が深まるようなことにも積極的に取り組んでいきます。

○ 報告第8号 田上校下新小学校建設事業の概要について（教育総務課）

（説明の概要）議案書19ページ。田上校下に建設予定の新たな小学校については、本年度実施設計を進めてきたが、今般設計業務が完了したので、事業の概要について説明する。

校舎の設置場所は田上本町4丁目地内、構造は鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積は約9,500m²である。

施設の特徴は、1点目に想像力を育む活力ある学習環境の創出を図る。校舎中央に中庭を配置し、子どもたちが好奇心や想像力を膨らませる開放的な環境整備をするとともに、校舎の2、3階には多様な学習形態が可能となるオープンスペースを整備する。2点目に、安全・安心な教育環境の整備と防災機能強化を図る。普通教室を2階以上へ配置するほか、地域活動等の利用者と児童の動線が交差しないよう工夫し、各階に多目的トイレを整備するほか、体育館棟には備蓄倉庫を設置する。3点目に、木のぬくもりや自然を感じ、地域への愛情や誇りを育む学校づくりを

行う。木材をふんだんに使用し、恵まれた自然環境を身近に感じられるよう、教室は南側のグラウンド向きに配置し、眺望景観と明るい環境を確保する。

今後の予定としては、今年6月ごろから敷地造成工事に取り掛かり、秋には校舎等の建設工事に着手する。令和5年度からの供用を目指す。

田邊委員	2点目の特徴で、P T Aや地域の活動の利用を配慮して、教室等は2階以上に配置するとありますが、1階にP T Aが利用できるような場所や地域の方が集まれるような場所を配置すると理解してよろしいのでしょうか。
堀場教育総務課長	右下のパス図で、右側に屋上プールがある体育館棟がありますが、地域開放エリアはこの体育館棟の1階に設けることを予定しています。体育館棟の1階には育友会室や地域で使える会議室、備蓄倉庫等も設置する予定です。
田邊委員	可能であればと思うのですが、学校に設置される図書館を地域の方が利用できるようなになれば、より文化的な環境になり得ると思うのですが、そこまでは想定されていないのでしょうか。
堀場教育総務課長	現段階では、地域の方が学校内の図書館を利用することまでは想定していません。
長澤委員	トイレは洋式でしょうか。今の子供たちは和式トイレを使う機会が減っていて、不便を感じていると思うのですが、新しく建てる学校のトイレについてはどのように考えていますか。
堀場教育総務課長	田上校下の新小学校のトイレについては、全て洋式を考えています。先ほど基本計画の議案の中で、「快適な」ということに関するご質問がありましたが、金沢市内の小中学校全てのトイレの洋式化に向けた調査を次年度予算に盛り込んでおりますので、新しく建てる小学校だけでなく、他の金沢市内の小中学校全てにおいて具体的な実施計画を作って、洋式化に取り組んでいきたいと思っています。
大島委員	児童数の増加で新しい小学校ができるということで、現在の田上小学校から分かれることになると思うのですが、その区分けはどういった手順で分けられるのか、お聞きしたいと思います。
堀場学校総務課長	現在の田上小学校の児童数は約900名、30学級ありますが、新小学校は約600人、18学級ぐらいの規模を想定しています。通学区域については現在、山側環状道路のマクドナルドがある場所から太陽が丘へと上っていく県道を境に区分けをしたいと考えていますが、詳細については今後、通学区域審議会や地域の方とも協議していく中で決めてまいります。
大島委員	恐らく子供たちは変化にすぐ対応すると思うのですが、P T Aを含めた地域の方はなかなか難しいと思うので、そのあたり少し丁寧に説明していただけるといいと思います。

○ 報告第9号 学校給食費の公会計化について（教育総務課）

（説明の概要）議案書21ページ。学校給食費の公会計化については、前回の教育委員会議において、金沢市学校給食費条例の制定についてお諮りし、3月定例会議で条例制定の議決が得られた。学校給食費を公会計化することによって、教職員の負担軽減のほか、会計を市の歳入・歳

出予算に組み込むことによる透明性の向上、最近導入が進んでいるコンビニエンスストアやスマートフォンでの納付にも対応することによって保護者の利便性向上も図っていきたい。令和4年1月から一部の小学校で先行実施し、令和4年4月からは全ての小中学校が公会計化に移行する。

大島委員

今の説明を聞いただけでも、教職員の負担が非常に減ると思うのですが、現状はどういった運用の仕方でするのでしょうか。

堀場教育総務課長

現在、学校給食費は私会計という扱いになります。1回当たりの給食単価は決まっていますが、各学校がそれぞれ月々の給食費をいくら徴収するのか、あるいは学期末ごとにいくらで精算するのかという作業を含め、給食費の保護者へのご案内から集金業務、さらには決まった日に口座から引き落とされなかった家庭への督促業務なども全て教職員が行っています。これを公会計化することによって、市の職員が行うことになります。

木村委員

教職員の方の負担が軽減される方向に向かっていることは、本当に助かることだと思います。システムの導入や徴収管理の在り方などの検討を進めていると書いてあるのですが、内容はどのくらい決まっているのでしょうか。

堀場教育総務課長

システムを導入すると、これまで各学校が各家庭に通知していた手続きを全て統一させることができるため、業務の効率化につながります。例えば、これまでは業者への給食数の連絡も、学校ごとにファクス、メール、電話などさまざまな方法で取られていたところですが、今回新たなシステムを導入することにより、メールで全て統一した方法が可能となります。システムの詳細については、現在内容を調整しており、実際の構築については次年度に入ってからとなります。

木村委員

未納の方への対処はどうなりますか。

堀場教育総務課長

これまでは学校の教頭先生や校長先生が各家庭を訪問したり、電話催促をしたりしながら納付のお願いをしていたと聞いています。公会計化以降は、市職員がこれまで学校の先生方が担っていた業務を引き続き行うこととなります。

田邊委員

公会計化が実現しても、学校側の業務が全てなくなるわけではないと思います。教育委員会事務局で対応を図るとのことですが、事務局の体制を整える大変さもあると思います。学校と教育委員会の役割分担も学校としてすっきりと理解できるように進めていく必要があると思いますが、こうした点はどのような見通しでしょうか。

堀場教育総務課長

基本的に給食費を管理する業務については、全て学校から金沢市が引き継ぐこととなります。ただ、個々の児童生徒のアレルギーや欠席状況、あるいはインフルエンザにかかって1週間ほど休むような場合に関しては、各学校現場でしか分からないことがありますので、給食数の把握についてはこれからも学校にお願いしたいと思っています。収納に関しては、これまでは給食費とともにPTA会費や教材費など学校に関わる学校経費といわれるものも保護者の同じ口座から引き落とされていたのですが、これからは引き落とし先が変わりますし、そういった点で給食費だけでなく、学校に納めるべき経費の未納が発生した場合は当然、学校側と協力して対応していかなければいけないと思っていますので、引き続き学校との協力関係は保っていきたいと思っています。

○ その他(1) 金沢市立工業高等学校の活動状況について(令和2年10月～令和3年3月)

(説明の概要) 議案書22ページ。資格取得の状況は、工業関係ではJ I S溶接技能者評価試験をはじめ、今年度も多くの資格を取得した。工業関係以外でも、実用英語技能検定などさまざまな資格を取得している。

部活動の状況については、文化部関係ではさまざまな大会が中止になる中、高等学校新聞コンクール、金沢地区美術展での受賞をはじめ、いしかわ映像作品コンテストでは保健委員会が新型コロナウイルス感染予防策の一環として、教室の模型を使った発煙による空気の流れ方を測定し、有効な換気の仕方を紹介した映像を撮影し、優秀賞を受賞した。

運動部関係では、新人大会から無観客で各種大会が開催された。資料では北信越大会以上の結果をゴシックで掲載している。水球、相撲、剣道、バドミントンなどが全国高等学校選抜大会に出場し、優秀な成績を収めた。中でも全国高等学校相撲選抜高知大会が先週の20、21日に行われたが、2年機械科の角田虎紀が個人の部で準優勝を果たした。水球部はベスト8に進出した。また、バドミントン、剣道部も全国大会に向けて出発したところである。ちなみに水球女子では、先日卒業した浦映月が東京オリンピック水球女子日本代表候補選手として、現在合宿に参加しており、5月の最終選考で正式に東京オリンピック代表に選出されると見込まれている。

その他の活動では、コロナ禍での感染防止対策を徹底しながら、例年と違う運営の中で吹奏楽部定期演奏会、生徒たちのメインイベントである金工祭、課題研究発表会など、3年間の集大成として実施した。

来年度も工業教育はもちろんのこと、部活動、地域奉仕活動などの課外活動にも積極的に取り組み、市民の皆さまに市立工業高等学校の活躍や魅力などをお伝えできるよう学校一丸となって取り組んでいく。

野口教育長

コロナ禍で大変な年度でしたが、さまざまな活躍が聞けてうれしく思います。これが次年度にも引き継がれるよう期待しています。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

(田邊委員)